

このたびは、『Velvet React』ボイスドラマ『ヒューマノイドのあいしかた。～拾ったヒューマノイドに懐かれすぎて好き好き連呼のあまろえっち！？～』をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

『Velvet React』は、近未来のKANTOを舞台に、特務機関オールドへ配属されたヒューマノイド・ワルターと、彼を取り巻く男性たちとの関係を描く成人向けBLゲームです。

今回のボイスドラマでは人間に近い『心』を持つ、特別なヒューマノイド・ワルターとヴァンとの関係性をゲーム本編とは違った形でお届けしました。

本作『Velvet React』は人と人との関係性、そして『性』の持つ魅力を正面から扱うエンターテインメント作品です。

『性』というものは、BLが持つ歴史の中で、登場人物の感情や関係性を描くための重要な表現として育まれてきました。

誰かに愛情を抱くこと。
触れたいと願うこと。

人と人との関係には、言葉だけでは整理しきれない領域があります。

とりわけBLは異性愛をベースにした物語・恋愛観から距離を置きながら、相手と向き合い、自身の持つ欲望や孤独を受け入れていく『赦し』を描いてきた表現文化だと、私たちは捉えています。

そこには、恋愛の幸福だけではなく、執着、依存、支配、献身、葛藤といった、単純な善悪では評することができない感情が存在します。

私たちは、そうしたBLが蓄積してきた表現の豊かさを尊重し、また、皆様にお届けしたいと考えています。

だからこそ、成人向け作品であっても、性的な場面を物語から切り離された見せ場としては考えていません。

『性』を通して、ふたりの変化をていねいに描写することを念頭におき、制作しています。

娯楽であるからこそ、徹底して楽しめるものを作る。

性的な作品であるからこそ、身体と感情を粗雑に扱わない。

BL作品であるからこそ、この文化が積み重ねてきた表現に敬意を払う。

それが、『Velvet React』を制作するうえで、大切にしている姿勢です。

本作を通じて、『Velvet React』に触れた方には、本作がゲーム本編の世界へ足を踏み入れるきっかけとなりました幸いです。

これからも私たちは、BLが持つ娯楽としての魅力と、表現文化としての豊かさ、その双方に誠実に向き合いながら、作品を形にしていまいります。

今後とも、『Velvet React』を何卒よろしくお願い申し上げます。

『Velvet React』運営チーム一同
公式X: @vel_rea_jpdk